2．学生一人当たりの教育研究経費、人件費並びに補助金、授業料＋施設設備費の推移

3．学生一人当たり公財政支出［OECD各国：高等教育機関］（2012年）



（2014年）

出典：OECD「図表でみる教育」OECDインディケータ（2015年版）より作成（2012年データ）、国立大学については、各法人の『財務諸表付属明細書』 （平成26年度）、私立大学については、『今日の私学財政（大学・短期大学編）』（平成26年度）

○　日本における大学生一人当たりの公財政支出額は年間69万円で、OECD各国平均の99万円を大きく下回る。ただし、公財政支出を国立・私立で比較した場合、国立大学は218万円で、OECD各国で最も高い水準であるが、私立大学はわずか17万円で、国立大学の約13分の１であり、OECD各国の中で最下位。

4．学生に対する経済支援の国私間格差：授業料減免を受けられる学生の割合（2014年）



○　私立大学は学生数約210万人のうち約3.8万人（1.8%［平成26年度実績］）の学生しか授業料減免の補助対象となっていないにもかかわらず、国立大学は学生総数約61万人のうち延べ人数で約18.1万人（29.6%［平成26年度実績］）の学生が免除されている。

29.6％

**約28**ポイントの差

出典：『今日の私学財政（大学・短期大学編）』（日本私立学校振興・共済事業団、平成26年度資金収支計算書等）をもとに作成

1.8％